

令和4年度 ガイドライン推奨 放課後等デイサービス事業所 自己評価表 まとめ
令和4年 12月 ひかり住吉

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	0	0	・基本定員数は10名とし、状況により11名まで受け入れている。(週の前後の利用数に応じて決定する。)職員配置により、定員以下で利用案内を止める事もある。 ・個室を利用したい方が増えており、パーテーションをより活用したい。
	2	職員の配置数は適切であるか	11	1	0	・利用者2名に対し職員1名の配置基準は守っている。職員配置状況と利用者数との兼ね合いも考えている。 ・対応を統一し、対応の職員以外でも対応できるようになりつつある。 ・職員が新型コロナウイルスに感染し、数日現場を離脱する状況が続いたことがあり、その場合は急に補充も難しく、厳しい状況が続いた。 ・できるだけ余裕を持たせた配置をしている。
	3	事業所の設備について、バリアフリー等化の配慮が適切になされているか	9	1	2	・室内に入ってしまったらフラットである。 ・肢体不自由の利用者は受け入れ態勢が整っていないため、ご利用希望をいただいてもお断りするケースがある。よって、バリアフリー化には至っていない。 ・段差が少しある。今後もバリアフリー化を進めていく。 ・多動者や走り回って遊ぶ利用者が安全に過ごせるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	3	0	・広く、パート職員からも意見を受け付けている。 ・支援会議や終礼などで細かく引継ぎできるようにしている。 ・週1回の支援会議を行っている。そのことで少なくとも週1回は支援の振り返りを行っている。 ・日々のケースファイル記載時や、支援、利用者との関わりにおいて、PDCAサイクルについて話している。"発生"だけで終わらず、対策とその結果までを求めて支援していくよう、全体的に周知していく必要がある。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	2	0	・年一回の保護者アンケートを実施している。ご意見を下さる方、至らぬ点をご指摘下さる方、様々ではあるが、全てに目を通し、業務内容、支援方法の見直しに繋げられるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	10	2	0	・集計した後毎年掲載、公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	3	
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1	1	・リモート研修が増えているため参加の職員が限られてしまっている。 ・学生アルバイトを含む全職員が閲覧できるよう、研修一覧を用意している。 ・定期的の実施されている研修に、職員間で相談の上参加している。内容や資質によって参加者を決める事もある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	・契約の際に必ず書いていただき、その上で内容を確認し、聞き取りの上、さらに細かく把握できるよう努めている。 ・今後は利用者から直接ニーズを開けるような体制を作っていくたい。 ・できるだけニーズを取り入れようとしているが空間の確保や職員の配置によっては厳しい時もある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1	0	・利用者の特性やコンディションに合わせ、カードやタイマーなどを取り入れている。 ・支援カードやマニュアル、毎日の昼礼終礼を行い、共有している。 ・半年ごとに行っているモニタリングや、個別支援計画の作成において、データをもとに作成するため、一人一人に設定したツールを活用した支援を日々心掛けている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	・発信、提案は、当日の現場指揮の者が行うが、職員間で相談の上確定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	0	・会議等で広く意見を求めている。 ・季節の行事以外は固定した活動プログラムは行っていない。 ・毎年恒例の行事はあるが、内容はその都度考えている。 ・少なくとも2日間隔で、同じ企画を行わないように気を付けている。曜日による利用者の違いによって、連続で同じ企画に参加する利用者も存在する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2	2	・支援内容上、必要な方には、スケジュールカードを用いて行うが、基本的には課題の設定などは細かく行ってはいない。 ・学校行事の背景含め、保護者と共有しつつ行っている。 ・基本的には個々のやりたいた事を重視しながら支援している。 ・個々人の課題については、会議で検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1	0	・ケース会議をこまめに行い、必要があれば担任教員とも共有、相談している。 ・細かく様子を観察して、利用者同士の関係や、当日の調子によって、個別に引き離れた支援、集団での支援、を分けて行っている。 ・ケース会議をこまめに行い、必要があれば担任教員とも共有、相談している。
	15	支援開始前には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1	0	・当日出勤職員のシフト時差があるため、ある程度揃った時点で情報共有している。 ・毎日の昼礼、最低週1回の支援会議を行っている。 ・休日は出勤時間のズレが大きいので、支援開始前の打ち合わせは難しい。そのため前日の状況を理解している職員が1番目に出勤し、情報の集約への時間を削減している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	0	・終礼時に共有している。お送り後、保護者から得た情報も併せて共有している。 ・毎日の終礼、最低週1回の支援会議を行っている。 ・送迎終了後の10～15分を活用して申し送り等共有する時間(終礼)を取っている。アルバイトや運転手など、その日出勤している者ほぼすべてのメンバーで話し合っている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	0	・ケース記録に細かく記載し、データを残している。PDCAサイクルを意識して記載し、モニタリングを行う際のデータとして活用できるよう工夫している。 ・ケース記録だけでなく、引継ぎノートや支援会議を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	0	・少なくとも半年に一回、必要があれば、その都度保護者と相談し、見直している。 ・成長により送迎方法が変化したり、環境の変化による個別支援計画の見直しが生じる場合がある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	11	1	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	11	1	0	・行っている。必要があれば複数名参加している。 ・基本的には該当児童の支援計画を担当している職員が出席している。資料作成においては事前に職員間で回覧し、意見を取り入れ、より詳細な情報を持って参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1	1	・モニタリング作成、支援計画作成において情報共有の機会は作っている。また、不登校時の事業所での様子を伝えるなどの共有も必要に応じて行っている。 ・保護者にお願いをし、行事予定表をいただいている。 ・支援校は直接担任から引継ぎをもらえる(無い場合もある。)が、一般校はいきいきを経由すると、その日のコンディションを100%引き継げない時がある。
	22	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	1	2	・保護者を介して情報を得ている。 ・保護者を通しての情報共有となっている。 ・服薬程度なら、医師からの指示書をいただき、行っている。 ・アセスメントの確認の際に必ずお聞きし、いつでも連絡ができるようにしている。服薬が必要なケースもあるため、医師の指示書を必要に応じてコピーしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	1	1	・契約時、アセスメントの確認を行っている。その際必ず確認し、連絡先は控えている。必要に応じて連絡を取り、情報共有を行う。(保護者の情報だけでは不明瞭な際など。) ・少ないが、ケース会議で共有する事がある。 ・保護者を介して情報を得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	10	1	1	・相談事業所へ情報提供している。 ・提供の拒否をすることは無いが、相手側から依頼が無い限り、こちらから伝える機会はない。 ・必要に応じて提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	1	・研修等を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	0	4	・ほぼ無い。 ・地域の不登校支援の施設から行事のお誘いを受けたことがある。 ・地域の公園で、自然と一緒に遊ぶことはあるが、企画はできていない。 ・交流の機会を設ける等はないが、地域の公園などに外出した際に関わる機会はある。様子と状況を見て対応している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10	1	1	
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	0	・保護者との接点の場所(送迎時など)に、できるだけ共有するようにしている。できない場合は直接電話などとする事もある。 ・忙しい保護者、発信の少ない保護者には、こちらから積極的にアプローチしている。 ・主に送迎の際や連絡帳でのやりとりにおいて保護者との共有は都度行っている。それにより共通理解を持ち、支援に繋げている。また必要に応じて電話での共有も行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	10	1	1	・トレーニングはしていないが、その都度相談を開けるような関係作りを大切にしている。 ・必要があれば、助言などしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	11	1	0	・契約の際、契約内容、重要事項説明書を見ていただきながら説明し、一緒に読み進めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	1	0	・トレーニングはしていないが、その都度相談を開けるような関係作りを大切にしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	1	0	・保護者会など横の連携ができるのは理想的だが、なかなか実現が難しい。年1回個別で(希望者のみ)面談は行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0	・迅速に対応するべく職員間で共有し、その際考えうる最速の対応を行う。また、苦情報告書を作成し、共有の上次回同じ事が起こらないよう対策を立てている。 ・課長、地域支援グループ、グループ長とも共有し、法人へも報告を行い対応を検討している。 ・苦情などの発信があれば迅速に対応し、職員間で共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	2	・利用案内メールや、月ごとの利用者の様子を写した写真を配っている。

	35	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	・一歩事業所内を出れば何があるかわからない。と常に心に留め、内部情報の他言無用に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	・些細な変化など見られた場合はその都度保護者へお伝えし、共有している。 ・支援カードを用いることが多いが、今年度中にタブレットを購入予定。それを生かしていきたい。 ・支援を行う中で、より良いコミュニケーションツールを探っていく事は、常に行っている。ピクチャーカードやマカトンサインなど、適したツールによって関わっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	4	・新型コロナウイルス感染予防のため、積極的に行っていない。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	1	0	・事業所内で周知するようにしている。保護者にはメールなどで利用時前にお知らせしている。 ・職場には、常に見ることができるよう事務所内のおいている場所を周知しており、保護者には契約時に説明している。それぞれに担当も用意している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1	0	・月に一度(月末)防災(避難)訓練を行っている。また、半年に一度、津波時の避難経路の確認を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1	0	・定期的に研修を受けている。 ・年に1回以上行っている。 ・虐待研修は、全職員必ず受けている。その上で、虐待マニュアルなどを確認する。また、事業所責任者からのストレスチェックによって、再確認する機会を設けている。
	41	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に充分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	1	0	・スタッフには前もって、職務を説明する際に必ず説明している。その上で、できるだけ職員が対応するよう心がけている。保護者には、契約の際に『やむを得ない場合の可能性』として必ず話している。 ・まず職員間で相談し、課長、グループ長とも相談した上で保護者の同意をいただき、行っている。 ・安全に過ごしてもらうため、ケガや命に関わるような事案が発生しそうな時は、拘束する場合もある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	1	0	・医師の指示書に基づき、細心の注意を払いながら対応している。 ・契約の際、アセスメントに必ず記載していただき、確認している。その際医師の指示書がある場合、コピーした上で保管している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1	0	・事案が発生した際、必ず『ヒヤリハット報告書』を作成し、次回二度と同じミスが起こらないよう対策、改善案を考えている。 ・『ヒヤリハット報告書』は、その都度ファイルに保存し、職員がすぐに確認できるようにしている。